

道産カラマツによる高品質な柱材の製造技術を開発

背景

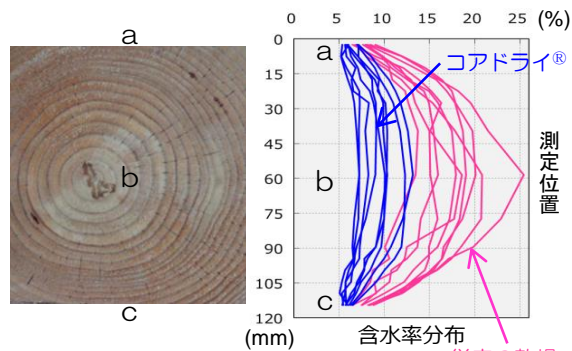
- ・カラマツはねじれや割れが発生しやすく、住宅構造材の利用は極めて少ない
- ・カラマツの構造材利用に適した新たな乾燥技術が必要

成果

乾燥技術の開発

高品質化に向けて

- ① 内部まで均一な乾燥
- ② 表面割れ、内部割れの抑制
- ③ 寸法安定性の向上

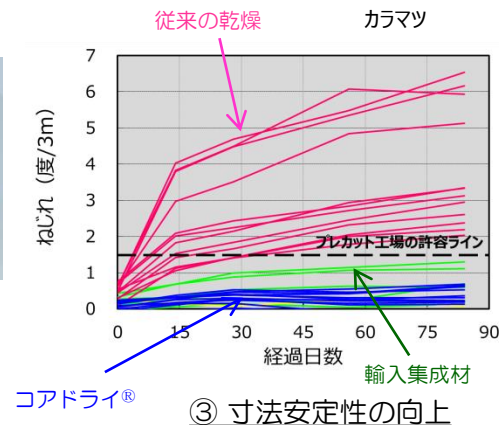
新たな乾燥技術
「コアドライ®」

① 均一な乾燥



表面割れ コアドライ® 内部割れ

② 割れの抑制



コアドライ®

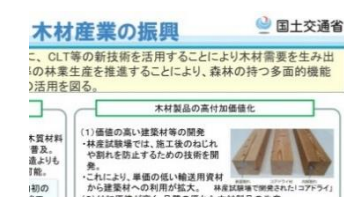
③ 寸法安定性の向上

成果の活用状況

- ・連携協定*による地域施設への活用が図られている。
*高品質な乾燥技術の普及推進に関する協定(栗山町ドライウッド協、むかわ町、苫小牧広域森林組合、林産連携局)
- ・道央圏等でコアドライ®が生産されている(計画:年間住宅180棟分)。
- ・コアドライ®の生産事業者認定制度が運営され、JAS製品として道外へ出荷されている。
- ・国土交通省国土審議会で、コアドライ®による木材製品の高付加価値化が事例として取り上げられた(平成27年3月)。

※特許出願:特願2014-42107(平成26年2月:北海道立総合研究機構)

商標登録:商願2014-18928(平成26年2月:北海道木材産業協同組合連合会)

施設への活用
(鶴川放課後子どもセンター)コアドライ®製品
(栗山町ドライウッド協同組合)JAS製品としての道外出荷
(機械等級区分構造用製材)

国土審議会資料